凡　　例

1．本書の遺構・遺物挿図の指示は以下のとおりである。

(1) 縮尺は原則として

遺構配置図 1/300　　遺構平面図・遺物出土状況図 1/60、1/30　　炉などの詳細図 1/30

土器実測図 1/4 、1/3　　土器拓影図 1/3　　石器実測図 1/3 、2/3　　銭 1/1

(2) 遺構断面図の水糸高は海抜高(m)を示す。明記していないものは同図版中の前遺構の海抜高に同じである。

(3) 遺構図における screen-tone の指示、遺物出土状況のドットの指示。

撹乱　　地山（ローム）　　焼土

土器 ●　　石器 ★　　黒曜石・チャート ▲　　礫 ○

(4) 遺構図内の▼マークは図の連続、接合部を表わす。遺構図凡例参照。

▲

(5) 遺構図の柵列・ピット内の数字は、確認面からの深さを示す。

(6) 土器実測図における screen-tone の指示。

地文縄文　　撚糸文

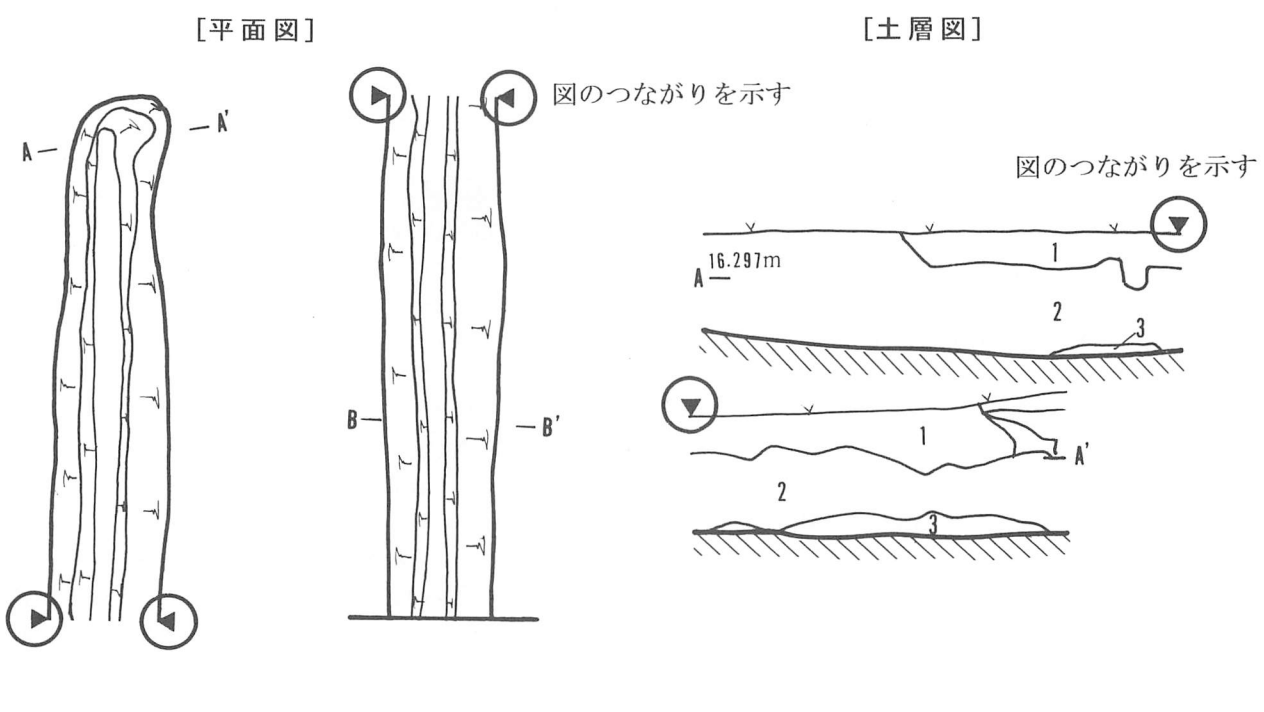
(7) 土器断面図は、「網目」が繊維含有、●が雲母粒を含有する縄文土器を表わす。

(8) 土器・陶磁器実測図の中心線が破線の場合は、180度回転させて復元実測したことを示す。

2．遺構名・遺構番号は、発掘調査段階では各地点ごとに付し、本報告書作製段階で精査検討した結果、新名称と番号を付したものについては旧の名称・番号を併記した。ただし住居跡名は発掘調査段階から遺跡内の通し番号を付した。

3．本報告にかかる出土品及び記録図面・写真等は一括して大井町教育委員会生涯学習課に保管してある。

遺構図凡例



第４章　亀久保堀跡遺跡の調査

1　遺跡の概要

（１）遺跡の立地と環境

亀久保堀跡遺跡は、福岡江川とさかい川の間の低位台地に位置している。

遺跡の標高は18.0～21.0ｍで、堀跡は自然の地形を考慮せずに直線的にのびる。現在は区画整理事業により遺跡周辺の地形は起伏が無くなりつつあるが、以前は僅かに埋没谷や窪地がみられた。

周辺の遺跡は、北側に東久保遺跡、南側に東久保西遺跡が隣接する。

これまでの調査から堀跡は、福岡江川付近から南下し江川南遺跡の中央部を南北にのびた後、地蔵院の東約80ｍ付近で南東に向きを変える。向きを変えた堀跡は、東久保遺跡と東久保西遺跡の間を約600ｍ以上直線で延び富士見市域へと続く。富士見市域では、調査が行なわれていないため遺跡の有無は不明である。

堀跡の規模は上幅約３ｍ、底幅約1.5ｍ、深さは地表面から約１ｍ、長さは800ｍ以上で断面形は逆台形を呈する。覆土層上層に焼土を多く含む層が所々で確認されているが出土遺物は無く、時代などは不明である。

しかし、本遺跡に隣接する地蔵院は南北朝期の二階堂氏との関係から、氏の館跡との想定もされている。また、平成14年度に第17地点で検出した堀跡の覆土層に含まれるテフラ分析を行ない、溝の時期が平安時代の９世紀以前に遡る可能性の検査結果も出ている。

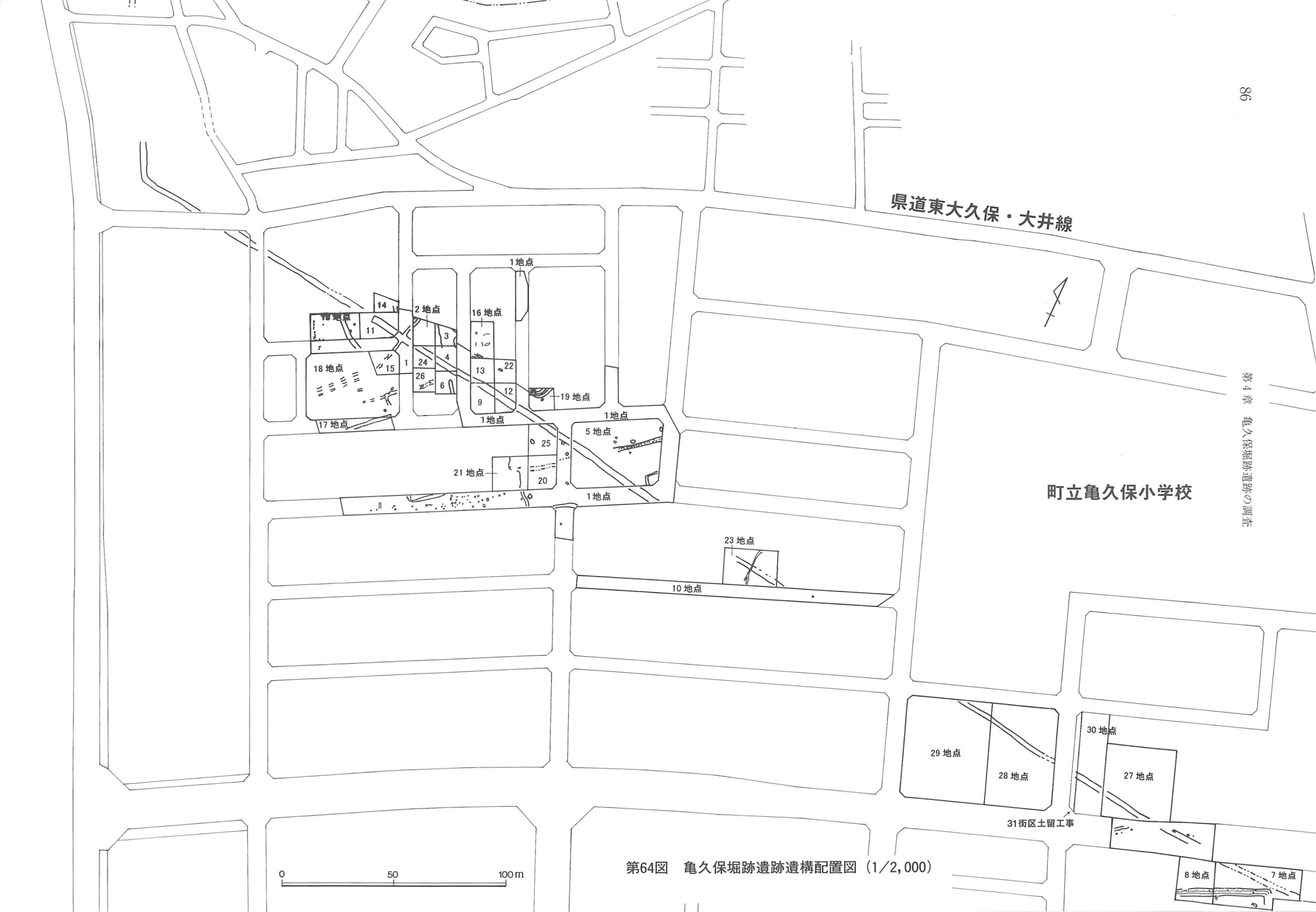
また、隣接する上福岡市駒林地区で類似する堀跡が数ヶ所発掘調査され、本遺跡との関連が注目される。

本遺跡では平成13年４月現在29ヶ所で調査が行なわれ遺跡全体の68％を調査し、堀跡の他に縄文時代の落し穴・土坑や時期不明の溝跡を確認している。

遺跡の現況は区画整理事業がほぼ完了し、町内でも開発が活発な地域である。



第63図　亀久保堀跡遺跡の地形と調査区（1/4,000）



第64図　亀久保堀跡遺跡遺構配置図（1／2,000）

第43表　亀久保堀跡遺跡調査一覧表

遺　跡	地点	所　在　地	調査期間 （　）は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
亀久保堀跡	1	東久保260-1､2　他	〈A～C区〉H9.4.2～9.6.19 〈D区〉H9.9.8～9.9.12	2,610	区画整理道路	縄文：屋外炉１基、土坑３基、ピット73、中世：堀跡、溝６本、縄文土器片他、（旧東久保遺跡第７地点）	本書
			〈E区〉H12.5.16～12.5.19	120			
亀久保堀跡	2	東久保6街区4･5画地	（H9.9.11～9.9.25）	127	個人住宅	近世以降：溝２本	町内遺跡群Ⅶ
亀久保堀跡	3	東久保6街区7･8画地	（H9.9.11～9.9.25）	130	個人住宅	近世以降：溝１本	町内遺跡群Ⅶ
亀久保堀跡	4	東久保6街区9･10画地	H9.9.11～9.9.25	113	個人住宅	中世：堀跡	町内遺跡群Ⅶ
亀久保堀跡	5	亀久保264-1･2･3、266 （2号緑地）	H9.9.22～9.10.27	1,200	区画整理公園	縄文：落し穴１基、土坑４基、中世：堀跡、溝２本、柵列１本	本書
亀久保堀跡	6	東久保6街区11･12画地	（H9.9.11～9.9.25）	102	個人住宅	中世：堀跡、近世以降：溝１本、	町内遺跡群Ⅶ
亀久保堀跡	7	東久保32街区5･6画地	（H9.10.29～9.11.4） H10.2.2～10.2.19	739	店　舗	縄文：落し穴１基、中世：堀跡、溝２本、柵列１本	町内遺跡群Ⅶ･Ⅷ 本書
		東久保32街区7画地	（H10.11.12～10.11.16）	165	砂利敷駐車場	中世：堀跡	町内遺跡群Ⅷ
亀久保堀跡	8	東久保32街区2画地の一部	（H10.2.6～10.2.19）	318	共同住宅	近世以降：溝２本、柵列	町内遺跡群Ⅶ
亀久保堀跡	9	東久保5街区9･10画地	H10.2.24～10.3.10	131	個人住宅	中世：堀跡、縄文中期：土器片２点、	町内遺跡群Ⅶ
亀久保堀跡	10	東久保382･385他	〈A区〉H10.3.9～10.3.16	436	区画整理道路	縄文：落し穴１基、ピット３、石鏃１点、近世：陶磁器片	本書
			〈B区〉H10.4.23 〈C区〉H10.5.20～10.5.21	324			
亀久保堀跡	11	東久保2街区12画地	（H10.4.8～10.4.22）	151	個人住宅	中世：堀跡	町内遺跡群Ⅷ
亀久保堀跡	12	東久保258-46	（H10.5.8～10.5.21）	123	個人住宅	中世：堀跡	町内遺跡群Ⅷ
亀久保堀跡	13	東久保5街区11･12画地	（H10.5.8～10.5.21）	107	個人住宅	中世：堀跡	町内遺跡群Ⅷ
亀久保堀跡	14	東久保2街区11画地	（H10.5.1～10.5.7）	132	個人住宅	近世以降：溝１本	町内遺跡群Ⅷ
亀久保堀跡	15	東久保7-2街区4･5画地	（H10.5.8～10.5.21）	111	個人住宅	近世以降：溝１本	町内遺跡群Ⅷ
亀久保堀跡	16	東久保5街区18･19画地	（H10.5.29～10.6.1）	117	個人住宅	溝２本	町内遺跡群Ⅷ
亀久保堀跡	17	東久保253･254他	H10.10.21～10.12.2	360	区画整理道路	中世以降：溝２本、近世以降：土壙２基、旧石器剥片２点	本書
亀久保堀跡	18	東久保7-2街区1･2･7～9画地	（H10.11.3～10.11.30）	908	個人住宅4軒分	縄文：落し穴１基、溝６本、土坑２墓、ピット３	町内遺跡群Ⅷ
亀久保堀跡	19	東久保4街区11･12画地	（H10.11.3～10.11.10）	99	個人住宅	溝３本、土坑１基、ピット２	町内遺跡群Ⅷ
亀久保堀跡	20	東久保8街区5画地	（H10.11.21～10.11.24）	185	個人住宅	遺構・遺物無し	町内遺跡群Ⅷ
亀久保堀跡	21	東久保262･263･266	（H11.4.19～11.4.22）	232	個人住宅	溝１本、ピット７	町内遺跡群Ⅸ
亀久保堀跡	22	東久保5街区7･20画地	（H11.6.10～11.6.12）	99	個人住宅	近世以降：ピット５	町内遺跡群Ⅸ
亀久保堀跡	23	東久保14街区10画地	（H11.10.4～11.10.8）	386	駐車場	中世：堀跡	町内遺跡群Ⅸ
亀久保堀跡	24	東久保6街区14画地	H11.12.14～11.12.16	105	個人住宅	中世：堀跡	町内遺跡群Ⅸ
亀久保堀跡	25	東久保8街区9画地	H12.4.10～12.4.12	187	個人住宅	中世：堀跡、土坑１基	町内遺跡群Ⅹ
亀久保堀跡	26	東久保6街区13画地	（H12.5.11～12.5.17）	105	個人住宅	溝、柵列	町内遺跡群Ⅹ
亀久保堀跡	27	東久保31街区2･3画地	（H12.5.29～12.6.1）	1,011	駐車場	中世：堀跡	町内遺跡群Ⅹ
		東久保31街区2･3画地	（H14.6.10～14.6.11）	980	店　舗	試掘調査、整理作業中、土坑２基	町内遺跡群Ⅻ
亀久保堀跡	28	東久保29街区3-6･9画地	（H12.9.28～12.9.29）	1,365	整地工事	中世：堀跡（西側半分は第29地点で再調査）	町内遺跡群Ⅹ
亀久保堀跡	29	東久保29街区1･2･7･8画地	（H13.4.17） H13.4.18～4.20	1,769	店　舗	中世：堀跡（第28地点でプラン確認した部分の再調査）	町内遺跡群Ⅺ
亀久保堀跡	30	ふじみ野2丁目25番1号	（H17.1.11～1.12） H17.1.31～2.7	695	店　舗	中世：堀跡、土坑１基（風倒木痕）	本書
面　積　合　計				15,003			

（２）調査の経過と概要

亀久保堀跡遺跡の調査は、1991年に江川南遺跡第２地点で堀状の遺構が初めて確認された事に由来する。

その後、江川南遺跡第５地点や東久保遺跡縁辺部の調査で堀跡の続きが確認され、1997年に遺跡の変更増補を行ない、亀久保堀跡遺跡として新たに遺跡の範囲と遺跡名を設けた。ただし、江川南遺跡の範囲内に存する堀跡については、従来どおり江川南遺跡として扱う。

1993年の東久保土地区画整理事業に伴う発掘調査の協定締結時には本遺跡が未発見であり、遺跡の変更増補を行なった後に協定の変更を行ない、発掘調査を実施した。従って、遺跡の登録以前には各遺跡周辺で堀跡が確認されていた。東久保土地区画整理事業に伴う調査では、亀久保堀跡遺跡第１・５・17地点、江川南遺跡第７地点、東久保遺跡第５地点で堀跡の続きを検出している。

町内に残る古文書などの史料にも堀や溝に関する記録はなく、また発掘調査においても堀の覆土層からは縄文時代の遺物しか出土しない。このため、遺構の性格や時期などが全く明らかになっていないが、平成14年度に実施した覆土層に含まれるテフラの分析結果などから、遺構の時期などが判明しつつある。

5　亀久保堀跡遺跡第10地点（６－50号線）

（１）調査の概要

第10地点の調査は、平成９年度（Ａ区）と平成10年度（Ｂ・Ｃ）に調査を行なった。

平成９年度は、Ａ区の調査を平成10年３月９日～16日まで行なった。平成10年度はＢ区の調査を平成10年４月23日、Ｃ区の調査を５月20日～21日まで調査を行なった。

調査区は亀久保堀跡遺跡、東久保遺跡、東久保西遺跡の３遺跡が隣接する場所で、標高は17.7～19.5ｍで緩く東に傾斜している。Ａ区調査区の東部は区画整理以前のゴミを埋めた撹乱が著しい。調査は重機による全面表土除去の後、人力による調査を行なった。

調査の結果、縄文時代の落し穴と、近世以降とみられるピットを確認した。旧石器時代の遺構と遺物は、各区に試掘調査のトレンチを設定したが確認されなかった。亀久保堀跡の続きが予想されたが、既存道路部分に重なったため確認できなかった。

（２）遺構と遺物

①落し穴

Ａ区調査区の中央部に位置する。確認面の平面形態は楕円形である。規模は上端99×177㎝、下端69×162㎝、深さは確認面から78.7㎝である。

②ピット

ピットの時期については覆土層の観察から近世以前とみられる。

第51表　亀久保堀跡遺跡第10地点ピット一覧表　単位㎝

No	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
1	円　形	28～36	13～19	56.8	Ａ区
2	円　形	30～34	13～15	61.9	Ａ区
3	楕円形	34～60	8～16	22.2	Ｃ区

③出土遺物（第78図）

１はチャート製の剥片で錐状の突出部を作り、重さ16.41ｇである。

２は砂岩製の三角型石鏃で、重さ0.89ｇである。

３は砂岩製の石臼破片である。

４は磁器製のミニチュア製品で狐とみられる。４は近世以降の時期である。

6　亀久保堀跡遺跡第17地点（６－15・20号線）

（１）調査の概要

第17地点の調査は、隣接する第18地点と一部並行して行なったため、その結果も併せて報告する。

第17地点の調査は、平成10年10月21日～12月２日まで行なった。

調査区は亀久保堀跡遺跡、江川南遺跡、東久保遺跡、東久保西遺跡の４遺跡が隣接する場所で、標高は20.0～20.5ｍでほぼ平坦である。調査は重機による全面表土除去の後、人力による調査を行なった。

調査の結果、近世の土壙を確認した。旧石器時代の遺構と遺物は、各区に試掘調査のトレンチを設定したが確認されなかった。

（２）遺構と遺物

①土壙

土壙は検出当初１基としていたが、以下の３点から異なる２基の遺構とした。

１、掘り込み面の形態が異なる。２、遺構間に段差があり底部の高さが違う。３、覆土層の堆積土が異なる。

【土壙１】６－20号線調査区の北側に位置する。

確認面の平面形態は、ほぼ長方形である。ほぼ楕円形の底部から東側の壁はオーバーハングして立ち上がる。木棺は確認されなかった。規模は上端85×172㎝、下端80×137㎝、深さは確認面から89.3㎝である。

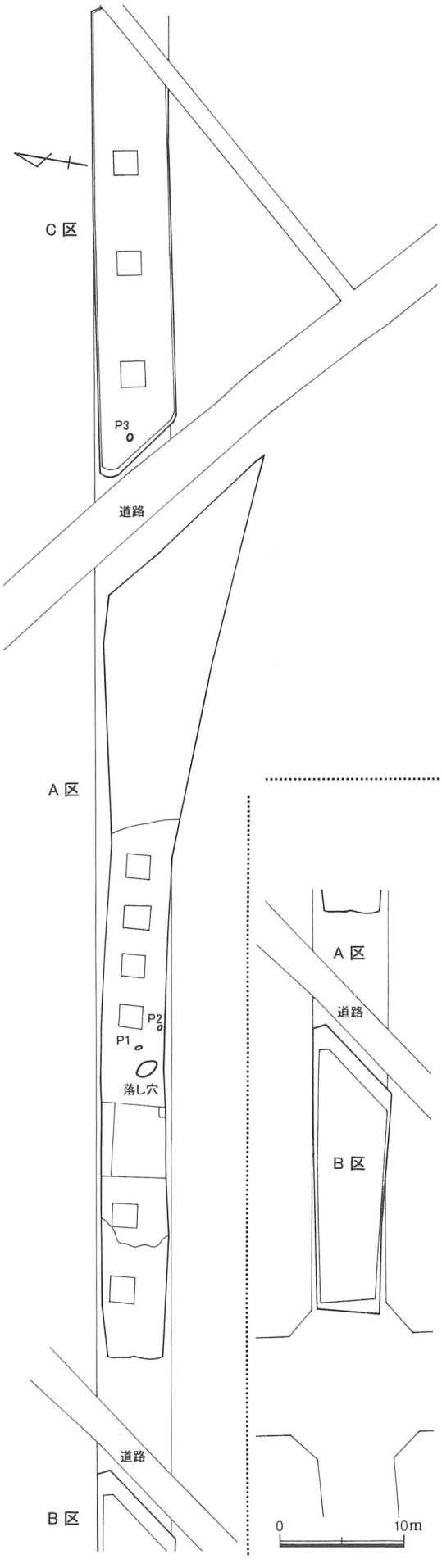
人骨は、土壙の長軸方向（北西）に頭を向け、四肢を曲げた胎児のような状態で仰向けに出土した。

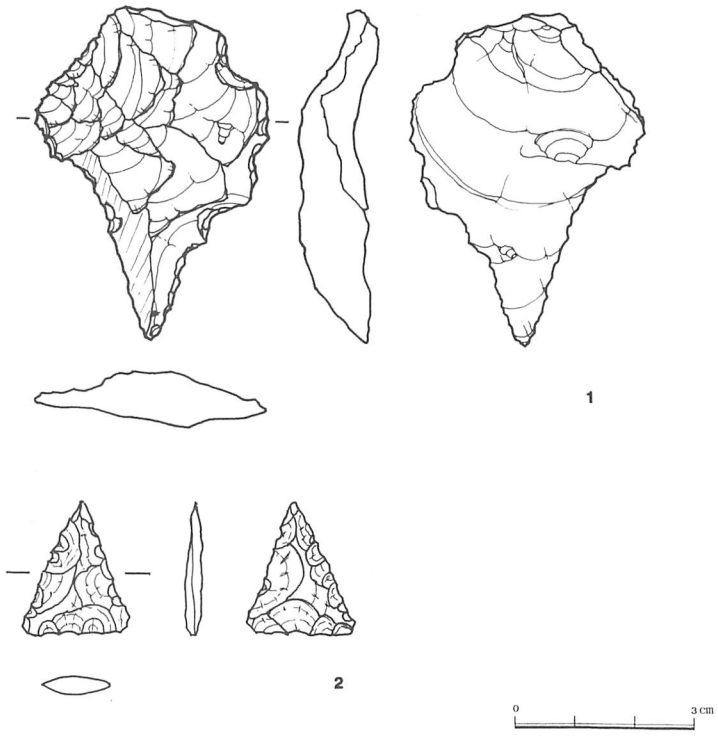
【土壙２】土壙１と重複する。土壙１検出途中で本土壙が別の遺構である可能性がでてきた。そのため土壙は前述の理由により２基の遺構とした。新旧関係は、覆土層の観察から本遺構が古いとみられる。平面形態は隅丸長方形で、規模は上端150×185㎝、下端（115）×125㎝、深さ49.6㎝である。土壙内南側の段は、幅33×90㎝深さは確認面から32.4㎝の位置にある。

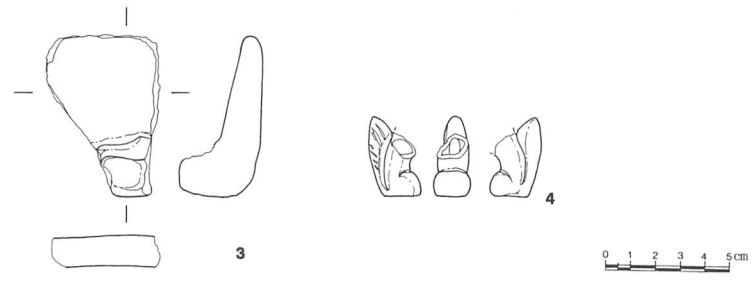
【土壙１出土遺物】（第81図）

出土遺物はカワラケ２点と銭貨６点である。

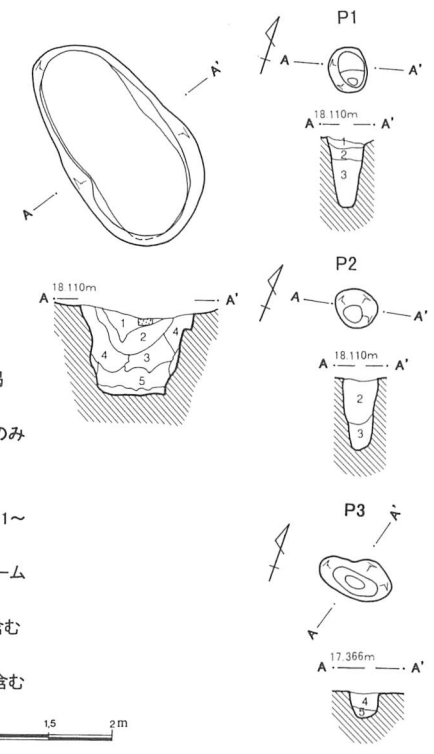
１～６は六道銭として納められた寛永通寶である。癒着して連結された状態で出土した。いずれも表面は寛永通寶、裏面上部に「文」があり、文銭と呼ばれる







落し穴



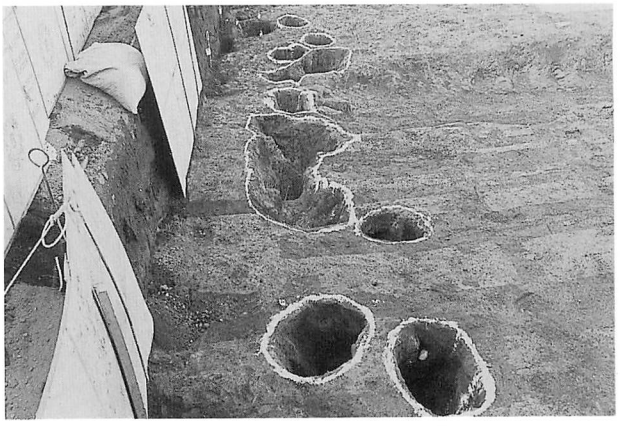
落し穴
1.暗褐色土　締り無.粘性弱.1～2㎜大ローム粒・ソフトローム少量含む
2.暗褐色土+黄褐色土　締り無.粘性無.暗褐色土主体、黄褐色土・粒含む
3.暗褐色土+黒色土　締り無.粘性無.黄褐色土に黒色・暗褐色粒が斑に入る
4.暗黄褐色土　締り無.粘性無.黄褐色土主体、3層の褐色土が混ざる
3・4層は性質的に同じ、黒色土の有無のみ
5.黒褐色土　締り弱.粘性有.黄褐色粒少量含む

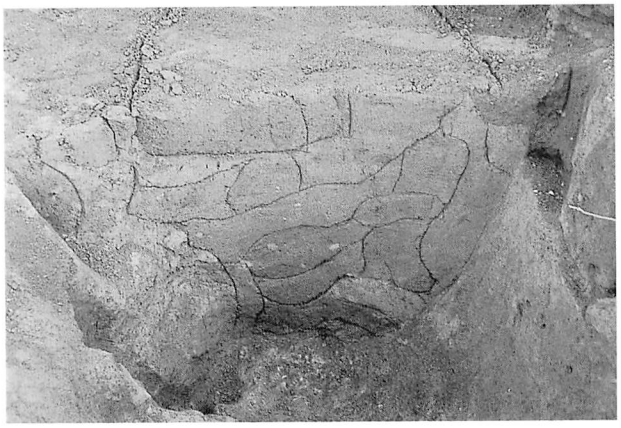
ピット
1.黒色土　締り無.粘性無.ソフトローム主体、黒色土・1～2㎜大ローム粒含む
2.黒色土　締り無.粘性無.黒色土主体、1～2㎜大ロームブロック含む
3.黒色土　締り無.粘性無.黒色土主体、ローム細粒含む
4.黒色土　締り弱.粘性有.1㎝大黒褐色土少し含む
5.黒褐色土　締りやや強.粘性有.しみ状黒色土極少量含む

0　0.5　1　1.5　2m

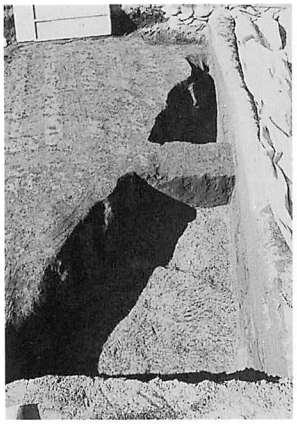
第78図　亀久保堀跡遺跡第10地点遺構配置図・落し穴・ピット・出土遺物（1/500・1/60・1/3・4/5）


亀久保堀跡遺跡第７地点落し穴

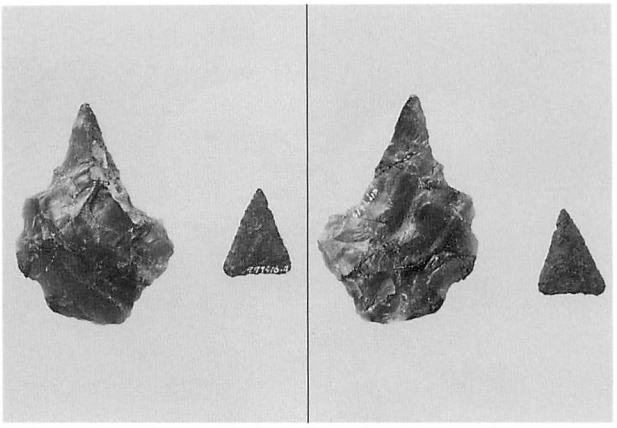

亀久保堀跡遺跡第７地点溝・ピット

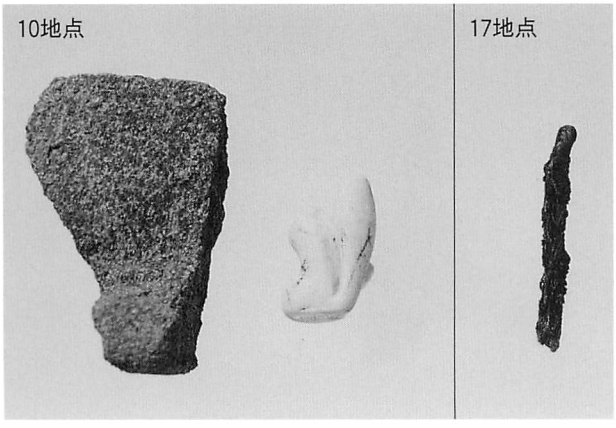

亀久保堀跡遺跡第７地点溝・ピット


亀久保堀跡遺跡第７地点調査区全景


亀久保堀跡遺跡第７地点堀跡


亀久保堀跡遺跡第10地点落し穴


亀久保堀跡遺跡第10地点出土石器（表・裏）



亀久保堀跡遺跡第10・17地点出土遺物


亀久保堀跡遺跡第17地点調査区全景